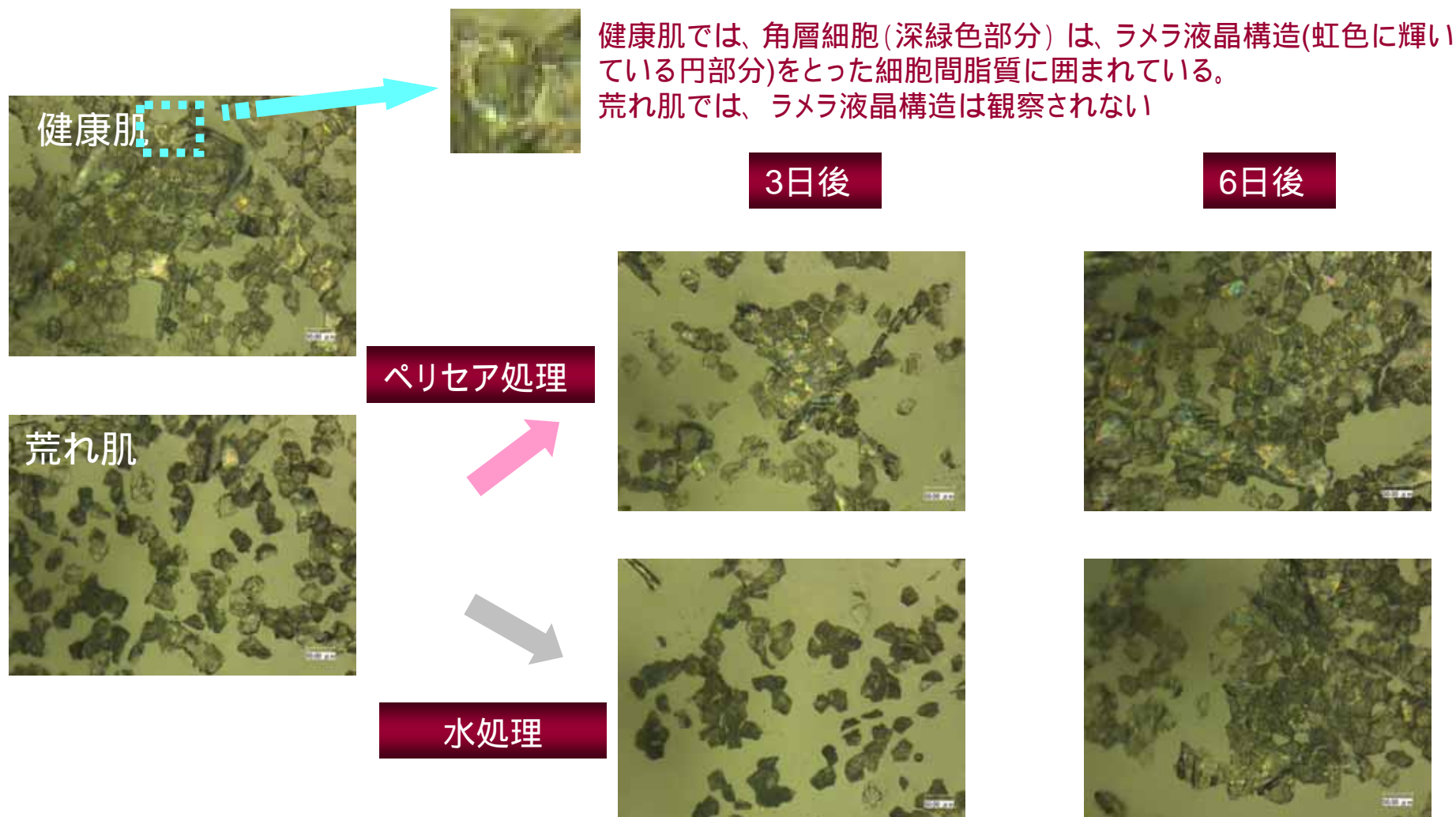


# 角層におけるラメラ液晶の回復(剥離角層の解析)

ペリセア処理により、角層内のラメラ液晶の回復が見られる。



肌荒れ作成後(SDS10%塗布)、固形分0.72%(有姿2.5%)のペリセア水溶液を1日2回塗布後、  
マイクロスコープ(VHX-900(キーエンス))により観察。塗布量:2  $\mu$  L/cm<sup>2</sup>